

# 令和2年度決算

「ハートフルで市民が主役」のまちづくりに加え、市民生活に大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策や市民生活支援策、事業活動への支援を積極的に実施した結果、合併後最大規模の決算額となりました。

問 財政課 TEL (36) 5750・FAX (32) 3237

詳しい内容は市ホームページで

HP 19619

決算は、9月の市議会第3回定例会に上程し、決算特別委員会で審議されたのち、12月の第4回定例会で認定予定です。

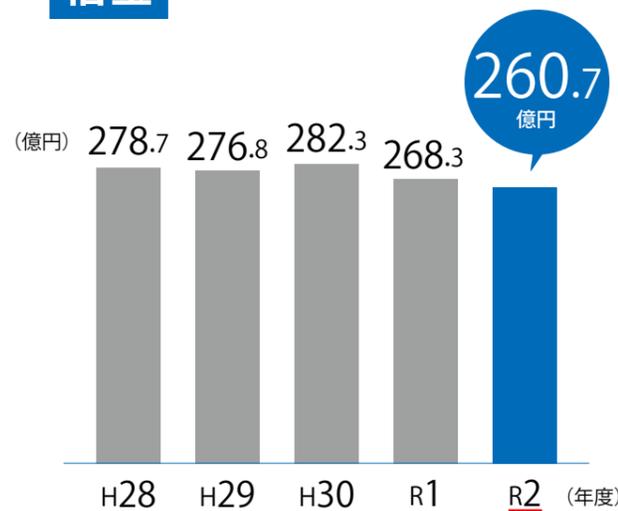
## お金のやりくり 貯金と借金

貯金と借金は、中期財政計画に取り組み目標を定めており、毎年度の決算状況を踏まえながら、将来を見据えた財政健全化に継続して努めていきます。

### 貯金



### 借金



ふるさと納税や市有財産の売却益の積み立てなどにより、貯金が前年度から14億7千万円増加し、190億1千万円になりました。



市債の新規発行は前年から増加したものの、返済がそれを上回り、7億6千万円減少し、残高は260億7千万円になりました。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行により、健全化判断比率などの公表が義務付けられています。各比率とも健全化基準を下回っており、財政状況が健全であることを示しています。

## 財政は健全です。

実質公債費比率

令和2年度  
1.5%



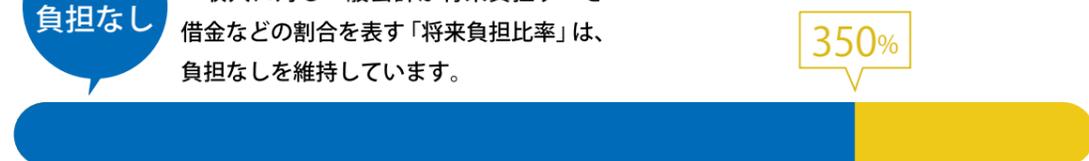
収入に対する借金返済額の割合を表す「実質公債費比率」は早期健全化基準である25%を大きく下回っています。

早期健全化基準  
(イエローカード)

財政再生基準  
(レッドカード)

将来負担比率

令和2年度  
負担なし



収入に対し一般会計が将来負担すべき借金などの割合を表す「将来負担比率」は、負担なしを維持しています。

早期健全化基準  
(イエローカード)

## 収支は8.2億円の黒字<sup>1)</sup> (令和3年度への繰越額3.2億円を除く)

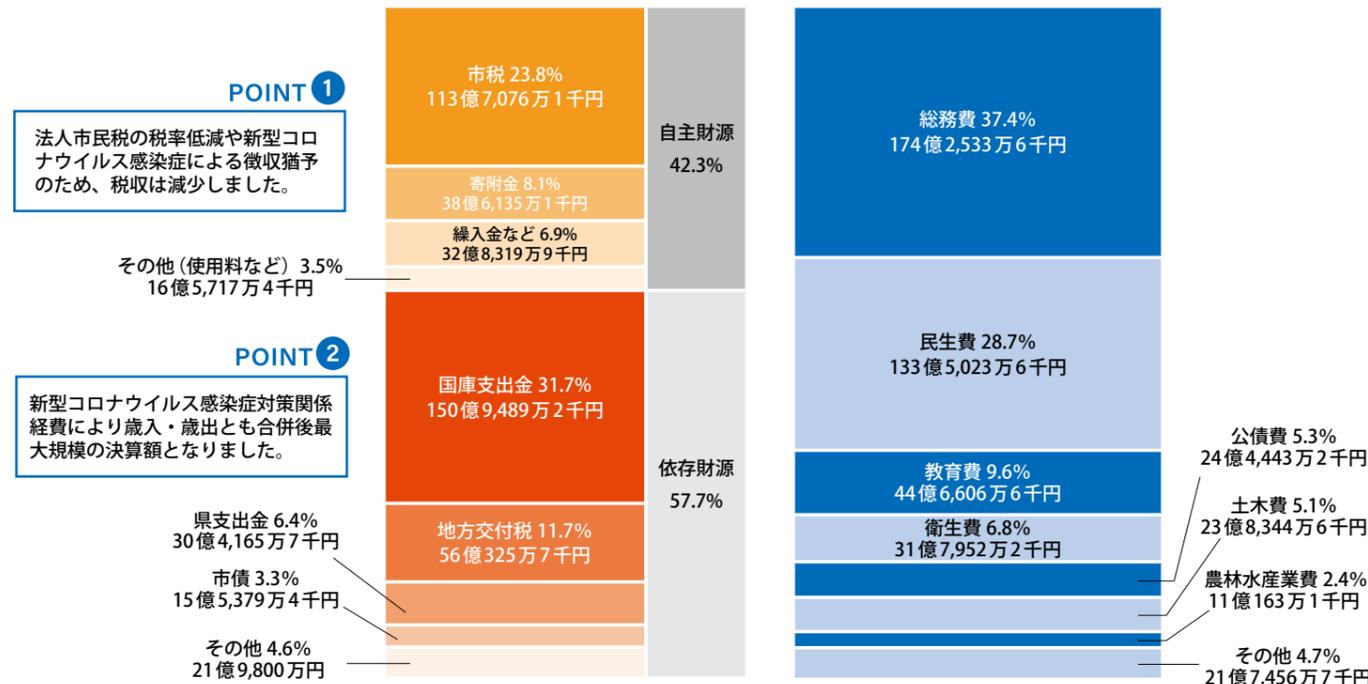
会計	歳入	歳出
普通会計	476億6,408万5千円	465億2,523万6千円
一般会計	476億2,292万3千円	464億8,437万1千円
大中の湖地区基幹水利施設管理事業	3,350万円	3,350万円
文化会館事業	5,458万6千円	5,428万9千円
特別会計		
国民健康保険	75億54万3千円	74億7,240万9千円
後期高齢者医療	9億9,941万円	9億9,830万7千円
介護認定審査会共同設置事業	2,865万9千円	2,865万9千円
介護保険事業(保険事業勘定)	64億9,597万6千円	63億5,444万5千円
介護保険事業(サービス事業勘定)	1,079万2千円	1,079万2千円

公営企業会計	収益	費用
病院事業会計	142億6,066万5千円	135億8,368万8千円
水道事業会計	16億4,754万5千円	14億9,624万6千円
下水道事業会計	19億9,807万1千円	19億6,261万1千円

歳入総額 476億6,408万5千円 歳出総額 465億2,523万6千円

POINT 1  
法人市民税の税率低減や新型コロナウイルス感染症による徴収猶予のため、税収は減少しました。

POINT 2  
新型コロナウイルス感染症対策関係経費により歳入・歳出とも合併後最大規模の決算額となりました。



小・中学生全員にタブレット端末を ICT 教育を推進



5億4,342万3千円

ICT 機器を活用した学習活動の充実を図るため、当初、小学5・6年生と中学校1年生を対象にタブレット端末を配置する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策として、前倒して全児童・生徒に端末を配置したほか、大型提示装置や遠隔学習のための情報通信機器の整備を行いました。

民間認定こども園・保育所の施設整備に財政支援を実施



ありす保育園 ▶

3億4,527万5千円 (認定こども園整備)

1億8,839万3千円 (保育園整備)

桐原東小学校区には就学前施設が少なく、保育ニーズも高いため、民間事業者の幼保連携型認定こども園(京進のこどもえん HOPPA近江八幡)の整備に対し財政支援を行いました。

また、市内民間保育所(ありす保育園)の定員増に伴う施設整備に対し、財政支援を行いました。

令和2年度もさまざまな事業を実施しました。その一部をご紹介します。

一年間の成果



健康ふれあい公園のサッカー場を整備



5億5,587万9千円

竹町都市公園(健康ふれあい公園)は全体を5期に分け整備を進めており、令和2年度には第4期工事となるサッカー場の整備を行い、令和3年4月から利用開始しました。また、第5期工事となるグラウンドゴルフ場と児童遊戯場の整備も着手しました。今後、令和4年4月のグランドオープンをめざして整備を続けます。

新庁舎の基本設計に着手 現庁舎の耐震改修工事を実施



1億6,721万9千円

市庁舎整備基本計画に基づき、令和2年8月から令和3年7月まで市庁舎整備基本設計を進めました。令和2年度末では、基本設計業務全体の8割を終えました。

また、新庁舎竣工までの間、現本庁舎において、来庁者や職員の安全確保、業務継続性を確保する必要があることから、耐震基準を満たすための耐震改修工事を行いました。

WITH CORONA

新型コロナウイルス感染症対策

定額給付金の支給など国・県の要請に対応した事業に加え、市独自の施策を速やかに切れ目なく実施しました。市の独自施策の一部をご紹介します。

コロナに負けるな!

おうみはちまんじもと応援クーポンを配付

4億9,348万4千円

地域経済の活性化と市民生活を支援するため、市内中小企業などの店舗で使用できるクーポン券を発行しました。市民1人当たり3千円分のクーポン券を10月と2月にそれぞれ配付しました。

市内観光関連事業者の感染症対策を支援

5,106万5千円

観光関連事業者を対象に、感染拡大防止のための消耗品・備品の購入や店舗の改修などかかる経費に対して補助金を交付しました。

子ども在宅応援金を支給

1億4,695万7千円

0~18歳の子どもの対象に、緊急事態宣言下で、子どもたちが家で長時間過ごすことによる各家庭の経済的負担を軽減するため、子ども1人当たり1万円を支給しました。

新生児特別定額給付金を支給

5,617万1千円

国の特別定額給付金対象の基準日以降で、令和2年度中に生まれた新生児を対象に、子育てにかかる生活を支援し、各家庭の経済的負担を軽減するため、新生児1人につき10万円を支給しました。

「近江牛」肥育農家を支援

1億1,178万6千円

既存の牛マルキン制度で補てんされない標準的生産費の一部を市独自に上乗せ支援する、がんばれ「近江牛」緊急支援事業と、畜産農家の事業継続・経営安定を図るため、肥育素牛の導入などに要する経費を支援をする、つなごう「近江牛」支援事業を実施しました。

高齢者いきいき活動支援交付金を支給

3,243万2千円

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために一時的に自粛されていた、高齢者の見守り訪問や生活支援、ふれあいサロンの開催、いきいき百歳体操などの再開に伴い、高齢者とその支援をする人が安心して活動できるように、感染予防に取り組むことや事業の充実を図るため、学区まちづくり協議会や自治会に交付金を支給しました。

事業者への支援を多角的に実施

2億3,591万1千円

国の持続化給付金を受けた事業者を対象に、本市が独自に助成金を交付する「事業者持続化助成金」、休業などの要請に応じた事業者へ県が実施する感染拡大防止臨時支援金に市独自で上乗せする支援、新たな事業展開を検討する事業者を対象に、初期費用や実証実験に必要な費用を支援する「新事業展開支援補助金」、国の持続化給付金を受けられないみなし法人に同等の支援を行う事業継続支援金を支給しました。